

農林水産商工常任委員会資料

(平成22年10月6日)

項 目

- 1 ガイナーレ鳥取の昇格条件と出資の検討状況について
【経済通商総室（企画調査室）】…（別紙）
- 2 第26回鳥取県技能祭について
【雇用人材総室（労働政策室）】…1
- 3 第32回全国障害者技能競技大会の鳥取県代表選手の決定について
【雇用人材総室（労働政策室）】…2
- 4 ふるさと雇用再生特別交付金事業及び緊急雇用創出事業の平成22年度予備枠の執行状況について（9月24日現在）
【雇用人材総室（雇用就業支援室）】…3
- 5 緊急雇用創出事業の予備枠による事業の追加実施について
【雇用人材総室（雇用就業支援室）】…5
- 6 鳥取県東京アンテナショップ「食のみやこ鳥取プラザ」の状況等について
【市場開拓局市場開拓課】…6

商 工 労 働 部

第26回鳥取県技能祭について

平成22年10月6日
雇用人材総室労働政策室

技能士に対する社会的地位の向上と、県民の皆様には技能の大切さを理解していただくために、下記のとおり鳥取県技能祭を開催します。

記

1 開催日時

平成22年10月23日（土）午前9時30分から午後4時
平成22年10月24日（日）午前9時30分から午後3時

2 会場

ポリテクセンター鳥取（鳥取市若葉台）

3 内容

(1) 式典（23日 午前9時30分～午前10時30分 ポリテクセンター中庭）

ア 県知事表彰（技能検定協力事業所・成績優秀者）の授与

イ 鳥取県職業能力開発協会会長表彰の授与

ウ 講演「鳥取県における技能振興の現状と課題」

（講師：鳥取県職業能力開発協会専務理事 横井裕一）

※「職業能力開発・技能促進大会」（職業能力開発協会主催）として開催

(2) 催事（23日・24日 ポリテクセンター中庭・体育館・実習棟）

ア 各職種技能士会による展示等

製品の展示販売、技能実演、業務のパネル紹介等

イ ものづくり体験

剪定教室（造園技能士会）、かんな削り体験（建築技能士会）、銅板へら出し（板金技能士会）、針遊び体験（和裁技能士会）、ものづくり体験教室（ポリテクセンター）等

ウ 名工展

優れた技能者県知事表彰受賞者及びとっとりマイスター認定者の紹介展示

エ その他

技能検定相談コーナーの設置、技能士制度広報VTRの放映等

4 主催

鳥取県技能士会連合会

5 後援

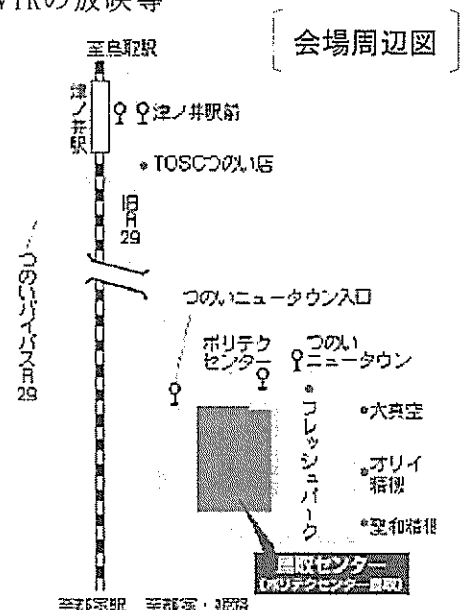
鳥取県、鳥取県職業能力開発協会、
全国技能士会連合会

6 参考（昨年度の概要）

(1) 日 時：平成21年10月31日～11月1日

(2) 会 場：ポリテクセンター鳥取

(3) 来場者数：約6,000人



第 32 回全国障害者技能競技大会の鳥取県代表選手の決定について

平成 22 年 10 月 6 日
雇用人材総室労働政策室

障がい者の職業能力開発及び雇用促進を図るため、10月に神奈川県で第32回全国障害者技能競技大会（アビリンピック）が開催されます。この度、この大会に出場する鳥取県代表選手が決定しました。

1 第32回全国障害者技能競技大会の概要

- (1) 開催日 10月15日（金）から17日（日）まで
- (2) 会場 横浜アリーナ等（横浜市）
- (3) 競技種目 22種目
- (4) 選手数 273人
- (5) 表彰 競技種目毎の成績優秀者に金賞、銀賞、銅賞を授与。
- (6) 主催 独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構、神奈川県

2 鳥取県代表選手

県障害者技能・作業競技大会で金賞を受賞し、知事の推薦を受けた者の中から、全国障害者技能競技大会長が決定。

氏名	種目	備考
キシマ 木島 ヤスシ 康志	ワード・プロセッサ	
アサダ 麻田 ユイ 唯	フラワーアレンジメント	倉吉高等技術専門校に在籍
オモテ 表 ノブヨシ 伸好	ビルクリーニング	倉吉高等技術専門校に在籍
ヤスタ 安田 ノリヒコ 憲彦	喫茶サービス	倉吉高等技術専門校に在籍

3 出発式

- (1) 日時 10月14日（木）午前11時30分から45分まで
- (2) 場所 第4応接室
- (3) 出席者 選手団：代表選手及び介助者等
県：知事、商工労働部長、福祉保健部長等



〔昨年のアビリンピック競技風景〕

フラワーアレンジメント種目で鳥取県代表選手が銅賞を受賞（過去に洋裁種目等で18人が入賞しており、昨年は平成10年以来の入賞。）

ふるさと雇用再生特別交付金事業及び緊急雇用創出事業の

平成22年度予備枠の執行状況について（9/24現在）

平成22年10月6日
雇用人材総室
雇用就業支援室

ふるさと雇用再生特別交付金事業及び緊急雇用創出事業の今年度の県事業予備枠を活用して追加実施することとなった事業は、以下のとおりです。

（参考）

- ふるさと雇用再生特別交付金事業
鳥取県ふるさと雇用再生特別基金（財源：国10/10）を活用した事業により、継続的雇用機会の創出を図るもの。
- 緊急雇用創出事業
鳥取県緊急雇用創出事業臨時特例基金（財源：国10/10）を活用した事業により、一時的な雇用機会の創出を図るもの。
- 重点分野雇用創出事業
緊急雇用創出事業のうち、特に重点分野（介護、医療、農林水産、環境・エネルギー、観光、地域社会雇用）に係るもの。
- 地域人材育成事業
緊急雇用創出事業のうち、一時的な雇用機会の創出を図りつつ、地域のニーズに応じた人材育成を行うもの。

1 平成22年度予備枠の執行状況（9月24日までに追加決定した事業）

（1）ふるさと雇用再生特別交付金事業

所属名	事業名	雇用創出人数	H22予算額 (千円)	事業内容
(農林水産部) 生産振興課	果樹経営改善プランナー設置事業	2	7,800	果樹農家の経営改善を図るため、果樹経営プランナーを設置し果樹農家の経営改善プラン(リトライプラン)の策定と実行について指導を行う。
今回報告分計①		2	7,800	
報告済分②		210	954,075	
報告済み事業の増減額③		2	3,094	
合計④(=①+②+③)		214	964,969	
県実施分現計予算額⑤			980,000	
残額(⑤-④)			15,031	

（2）緊急雇用創出事業

所属名	事業名	雇用創出人数	H22予算額 (千円)	事業内容
(統括監) 広報課	情報発信ツール県民協働作成事業	2	4,953	鳥取県の情報発信のため、鳥取県の今を県内外に発信する書籍の編集、版下作成を行う。
広報課	情報発信促進事業	1	962	報道提供資料、お知らせ等の県民への情報発信を進めるため、各種情報の地デジデータ通信を活用した情報提供や県公式ホームページへの掲載、映像ライブラリーの整理を行う。
(総務部) 業務効率推進課	全庁で取り組む業務カイゼン活動推進事業	1	1,817	県庁内の業務の無理・ムダを排除し、業務改善をはかる「カイゼン活動」を全庁的に進めるため、研修の運営・実施、職員に対する啓発・周知に関する企画・実施等を行う。
税務課	県税適正課税推進事業	5	6,542	法人事業所の捕捉調査等を今回集中的に実施することにより、適正かつ公平な賦課徴収の実現を図る。

(福祉保健部) 福祉保健課	生活保護業務事務補助事業	3	3,570	福祉事務所設置を予定している町からの研修生受入れ及び保護世帯数の増加等に対応するための臨時職員雇用。
西部総合事務所福祉保健局	医薬関係事務支援	1	1,023	高度管理医療機器販売業の許可更新事務、医療従事者調査事務等の増加事務に対応するための臨時職員雇用。
(生活環境部) 環境立県推進課	環境情報データ整理事業	1	1,028	環境に関するデータ、施策情報等の県民への提供の利便性向上のため、環境関係データの電子化と県庁ホームページへの掲載を行う
環境立県推進課	鳥取県地球温暖化対策条例に係る取組支援事業	1	1,028	「鳥取県地球温暖化対策条例」に規定された特定事業者からの取組計画の取りまとめ等を行う
(商工労働部) 雇用人材総室	雇用基金事業コーディネーター配置事業	1	2,043	ふるさと・緊急雇用基金事業の円滑な実施のため、事業の周知、相談、実施状況検査等の業務を担当する職員(非常勤職員)を配置する。
(農林水産部) 食のみやこ推進課	「食のみやこ鳥取県」ホームページ情報発信事業	1	1,328	県民や観光客向けに県特産品・料理・イベント等の「食」に関する情報発信機能を充実したホームページを開設し、運営する。
農林総合研究所	中小家畜試験場管理運営費	1	1,075	県内養豚農家への豚の精液供給業務について、受注の取りまとめや発送業務等の事務補助を行う。
(県土整備部) 技術企画課	監督補助員設置事業	1	1,888	急傾斜地崩壊危険区域の調査、経過観察、工事監督の補助を行わせるための非常勤職員雇用。
(警察本部) 警務部情報管理課	警察本部情報セキュリティ対策事務支援事業	1	1,267	警察業務に係る情報の情報の流出や紛失を防止するため、県警察で使用するすべてのパソコンに自動暗号化ソフトのインストール作業を行う。
生活安全部生活安全企画課	古物営業管理システム入力業務支援事業	1	890	古物営業管理システムの更新のため、古物営業許可台帳との照合作業、試験データの登録作業及び新システムでの新規許可・変更登録等のデータ入力を行う。
今回報告分計①		21	29,414	
報告済分②		510	619,486	
報告済み事業の増減額③		14	10,305	
合計④(=①+②+③)		545	659,205	
県実施分現計予算額⑤			1,300,000	
残額(⑤-④)			640,795	

(3)重点分野雇用創出事業

所属名	事業名	雇用創出人数	H22予算額(千円)	事業内容
(企画部) 情報政策課	県内観光地等拡張現実情報発信試行事業	1	1,284	県内観光地情報の発信のため、県内企業が開発したiPhone用アプリケーションを活用した情報発信、イベントの企画・実施を行う。
(生活環境部) 公園自然課	希少野生動植物の保全及び特定外来種駆除業務支援員設置事業	1	1,571	鳥取県版レッドデータブック改訂に係る集計業務等のほか、外来種駆除に関する関係機関との連絡調整、普及啓発のための広報・PR業務を行う。
(商工労働部) 雇用人材総室	重点分野職場体験型雇用事業	150	226,800	県内の失業者に短期の雇用機会を提供するとともに、重点分野の振興を図るため、県内企業等に対して「重点分野職場体験型雇用事業」を委託する。
(農林水産部) 農林総合研究所	口蹄疫対策事業	2	1,932	口蹄疫の感染拡大に備えて万全を期すため、安全な場所に退避させた畜産試験場で飼養している本県所有の種雄牛、供卵牛の飼養管理(給餌、除糞、牛舎清掃)を行う。
水産課	水産業テーマ展示準備事業	1	1,750	平成23年秋に鳥取港で開催される「第31回全国豊かな海づくり大会」の関連行事として実施する水産業に関するテーマ展示の準備業務(パネル作成用素材収集、パネル原案作成等)を行う。
全国豊かな海づくり大会推進課	第31回全国豊かな海づくり大会～鳥取大会～PRキャラバン隊事業	8	14,572	海づくり大会及び国造り運動(白うさぎ大使)を広く県民に周知するため、大会公式キャラクター「ととリン」率いるPRキャラバン隊を編成し、県内縦断のPRキャラバンを実施する。併せて、twitter、ブログ、マスメディア等を活用した広報を行う。
(警察本部) 警備部警衛対策課	「全国豊かな海づくり大会」警備対策事務支援事業	1	868	「全国豊かな海づくり大会」の円滑な実施と警備諸対策に万全を期すため、各種資料の整理・分類保管、装備資器材の一覧表、車両運用計画作成等の業務を行う。
今回報告分計①		164	248,777	
報告済分②		211	340,637	
報告済み事業の増減額③		3	3,520	
合計④(=①+②+③)		378	592,934	
県実施分現計予算額⑤			624,000	
残額(⑤-④)			31,066	

(4)地域人材育成事業

追加事業なし

緊急雇用創出事業の予備枠による事業の追加実施について

平成22年10月6日
雇用人材総室
雇用就業支援室

1 緊急雇用創出事業の県事業予備枠を活用して追加実施する事とした事業費

(9月24日までに追加実施を決定した事業)

228,843千円

2 追加実施事業の内訳

(単位：千円)

事業名	H22年度 雇用創出人数	H22年度 執行予定額	事業概要
雇用基金事業コーディネーター配置事業	1名	2,043	ふるさと・緊急雇用基金事業の円滑な実施のため、事業の周知、相談、実施状況検査等の業務を担当する職員（非常勤職員）を配置する。
重点分野職場体験型雇用事業	150名	226,800	県内の失業者に短期の雇用機会を提供するとともに、重点分野の振興を図るため、県内企業等に対して「重点分野職場体験型雇用事業」を委託する。 ■実施決定人数 105人(9月24日現在)
計	151名	228,843	

※この事業は「緊急雇用創出事業臨時特例基金」を活用して実施する事業です。

鳥取県東京アンテナショップ「食のみやこ鳥取プラザ」の状況等について

平成22年10月6日
市場開拓課

I 最近の状況について

鳥取県東京アンテナショップ「食のみやこ鳥取プラザ」の最近の状況について、報告します。

1 アンテナショップ効果事例

<販路開拓・拡大>

- ・レストランシェフの紹介により、都内中華料理店での空心菜など県産野菜の取扱が決定。

<商品開発（改良）>

- ・アンテナショップで収集した情報を県内事業者に伝達し、新商品開発や商品改良に取り組み。

【主なもの】

商品名	内容
野菜パウダー8種（モロヘイヤ、イタリアンパセリ、赤しそ、金時いも、かぼちゃ、ほうれん草、じゃがいも、にんじん）	野菜について、以前より様々な料理で手軽に利用でき、保存も長期間可能なパウダー化を提案していたところ、製品化

2 取組状況

<県産品の情報発信>

- ・テレビ・雑誌等でのアンテナショップの紹介

日刊スポーツ（9/28）、Hanako（10/14号）、にほん日和（10月号）、秋ぴあ首都圏版

<催事による情報発信>

【店頭催事】

○9月

- ・二十世紀梨や手織物、妖怪珈琲や玄米ご飯、ふろしきまんじゅう、さざえのエゴマオイル漬け、地ビール、らっきょうを使用したクッキー、地元イラストレーターのイラストの試食（展示）販売を実施（6事業者）
- ・湯梨浜町が特産の二十世紀梨の試食販売やお楽しみ抽選会等による観光キャンペーンを実施（9/3～9/5）

○10月（予定）

- ・スプラウト（芽出し野菜）や野菜パウダー、燻製製品、西条柿やあんぼ柿、県内障害者作業所等の製品の試食販売を実施（4事業者）
- ・県内事業者で製造の米パンができるホームベーカリーの紹介（10/19～21）
- ・鳥取市歴史博物館及び明治大学で開催の「日本初の女性弁護士中田正子展」のPR（10/16～10/17）

3 アンテナショップ開店2周年記念フェアの開催結果について

期間中はプレゼント企画や割引クーポンなどの効果で多くのお客様に訪れていただき、賑わいを見せました。

(1) 期日：8月27日（金）～9月12日（日）

(2) 内容：28日（土）は来場者先着50名様に、平井知事、とっとりふるさと大使の佐々木えるざさんによる二十世紀梨のプレゼントを実施

(物販店舗) 県産品等のプレゼント企画、10%の割引クーポン券の発行、2周年日（8月29日（日））に鬼太郎の着ぐるみによる鳥取県とアンテナショップのPRなど

(飲食店舗) 2周年日にランチタイムの特別営業（通常は日祝休業）、2周年記念ディナーコースの提供など

4 「東京アンテナショップ」および「千里大丸プラザ鳥取県フェア」活動報告会の開催について

オープン以降毎年開催し今回が3回目となるアンテナショップ報告会について、首都圏及び関西圏での販売動向、消費者の情報などを県内事業者の皆さんにお伝えするため、今年度は初めて、大阪府豊中市の千里大丸プラザで毎月開催している鳥取県フェアの報告会と併せて開催します。

(1) 期日：10月7日（木）午後1時30分～4時

(2) 場所：新日本海新聞社中部本社ホール

(3) 内容：「東京のアンテナショップ」及び「大阪の千里大丸プラザの鳥取県産品フェア」の状況やその成果、活動において収集した様々な情報（消費者・実需者の声など）を県内事業者の皆さんに報告

(4) 対象者：県内事業者、市町村、農林商工関係団体、金融機関、県等

※千里大丸プラザ鳥取県フェアについて

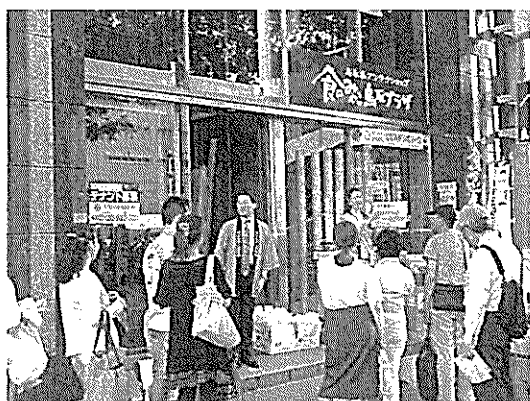
12月を除く毎月末の4日間（金～月）、県産の青果や加工品を販売する鳥取県フェアを開催。

5 運営状況
 <来客実績>

区分	物 販 店 舗				レ ス ト ラ ン		
	買物客数	営業日数	売上高 (千円)		来店客数	営業日数	売上高 (千円)
			うち催事売上高 (千円)				
H20. 8. 29~ H21. 3. 31	37,662名	211日	50,229	806	13,497名	171日	50,092
H21.4月	4,737名	30日	5,837	62	1,731名	25日	5,925
5月	6,309名	31日	7,590	87	1,822名	23日	6,410
6月	6,159名	30日	7,701	212	2,203名	26日	7,489
7月	6,206名	31日	7,700	181	2,092名	26日	7,345
8月	7,483名	31日	8,198	108	2,268名	27日	7,804
9月	7,002名	30日	8,743	209	1,828名	23日	6,191
10月	6,384名	31日	7,623	224	1,865名	26日	6,716
11月	6,523名	30日	9,241	237	1,578名	23日	5,411
12月	6,438名	30日	8,696	281	1,450名	21日	5,270
1月	5,361名	28日	6,597	122	1,713名	23日	5,526
2月	5,056名	28日	6,756	177	1,609名	22日	5,568
3月	6,229名	31日	8,222	236	1,813名	26日	6,072
H21. 4~H22. 3	73,887名	361日	92,904	2,136	21,972名	291日	75,727
H22.4月	6,155名	30日	8,357	313	1,671名	25日	5,814
5月	7,136名	31日	8,502	147	1,522名	23日	4,779
6月	6,128名	30日	8,136	308	1,821名	26日	5,697
7月	5,698名	31日	7,025	258	1,713名	26日	5,761
8月	6,095名	31日	7,240	239	1,842名	26日	5,753
H22. 4~H22. 8	31,212名	153日	39,260	1,265	8,569名	126日	27,804
合 計	142,761名	725日	182,393	4,207	44,038名	588日	153,623

<物販店舗の人気商品 (8月)>

順位	品 名	販売価格
1位	大山ソフトクリーム	380円
2位	生干しほたるいか	525円
3位	とうふちくわ・生	250円
4位	鳥取湖陵高等学校 福神漬	150円
5位	あごちくわ・生	310円



2周年記念フェアの様子

II. 平成 23 年度以降の鳥取県東京アンテナショップ運営事業者の継続について

8月の常任委員会で報告のとおり、平成23年度以降の鳥取県東京アンテナショップの運営事業者について検討してきましたが、以下のとおり報告します。

1 県と運営事業者との契約について

- ・契約期間： 県と運営事業者との契約が成22年度末まで
- ・更新の規定： 契約解除の場合は、契約満了の6月前までに申し出が必要
申し出がない場合は、自動的に3年更新

2 運営事業者について

現在までの販路開拓や認知度向上等の成果、出展者事業者アンケートの結果、アンテナショップ運営会議委員の意見を踏まえ、平成23年度以降も物販、レストランとも現事業者（物販：(有)長生堂、レストラン：(株)ホテルセントパレス倉吉）を継続。

現運営事業者も「運営を継続したい旨」の意向を県に対し表明。

(1) 物販・レストランの状況・成果

物販	<ul style="list-style-type: none"> ・平成21年5月から売上げも上昇、安定し、若干の変動はあるがおおむね前年同月比の売上げを上回るか、同水準程度であること。 ・アンテナショップをきっかけとして、これまでアンテナショップで販売した約1,800商品のうち約167商品（約102社）(H22.6月末現在)を首都圏の卸小売業や外食店等に紹介し、100アイテム以上が商談成立。また、メディアへの露出が300件以上と県や県産品の認知度向上に寄与、さらにアンテナショップ店頭での催事販売が85件に及び、県内事業者の販路開拓や商品開発の意識醸成につながるなど、成果が多方面に及ぶと分析。
レストラン	<ul style="list-style-type: none"> ・アンテナショップ併設の水準を超えたクオリティを持つイタリアンが広く話題となって県産食材のPRに成果。 ・また、レストランの紹介により他レストランで県産食材の採用などの成果も。

(2) 出展事業者アンケートの結果

目的：2期目を迎えるのを機に、アンテナショップの効果や課題などを聞き今後の運営に役立てていくため実施

回答状況：アンテナショップにおいて商品の取扱いのある県内事業者160社のうち、73社が回答（回答率46%）

- ・今後の首都圏での販路拡大等への取り組みについては、回答のあった社のうち94%の企業が「今後も首都圏での販路拡大等に取り組みたい」と回答。
- ・今後のアンテナショップでの販売等については、回答のあった社のうち97%の企業が「今後もアンテナショップでの販売に取り組みたい」と回答。
- ・アンテナショップでの販売効果については、「アンテナショップで販売していることにより企業や商品イメージが上がった」「首都圏の消費者やバイヤー、アンテナショップからの意見が参考になる」という意見が多かった。

(3) アンテナショップ運営会議委員の意見

委員：飯塚敏士氏（マーケティングコンサルタント）、三角幸子氏（フリーランスエディター。元「マダム」編集長）、生田 亨氏（(株)JTB首都圏常務取締役）他

物販	全体	<ul style="list-style-type: none"> ・売り場も良くなり、今後は一步上のレベルで鳥取ならではのこだわりや物語をPR。 ・今後は、いっそうの魅力の発信・情報フィードバックを。
	運営事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・更なる成長も期待でき、事業者は継続すべき。 ・今までの成功と失敗を蓄積しており、事業の継続性から業者変更は県にとって不利益。
レストラン	全体	<ul style="list-style-type: none"> ・計画当初の期待を上回るレベル。県産素材をうまく使い、季節感あるイタリアンを創作し、気持ちよいサービスを提供しリピーターを増やしている。 ・リーマンショック後の厳しい状況であり、今後はメニューの見直しなども検討。
	運営事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・イタリアンという業態で存在感を発揮し、良い評価を得ている現在の店を、現運営事業者で継続すべき。

※「アンテナショップ運営会議」は、外部の有識者で構成し、アンテナショップの運営等について協議・意見をいただく目的で設置。